

かながわ人生100歳時代ネットワーク
「この指とまれプロジェクト」

「明るい人生100歳時代の社会をめざして」

—学生と社会人が教室で共に学ぶ高齢社会—

提案者 横浜商科大学
共同提案者 ニッセイ基礎研究所

2019/11/1

①事業概要

高齢社会のマーケティング（高齢社会総合研究）

- 概要

高齢社会に特有な課題を専門家が学生に講義をして課題、問題点を理解させる。講義は、一般の方にも開放する。

学生がどのような職種・業務に将来就職しても高齢者に対して正しいマーケティングができるようする。

正規の科目として実施する。

- 実施場所

横浜商科大学 つるみキャンパス 横浜市鶴見区東寺尾4-11-1

- 経費（横浜商科大学が負担）

人件費（講師料） 24万円（1コマ90分；16000/円x15回）

広告料・その他経費 12万5千円

講義内容

第1回(9月24日)～第15回(1月21日)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 講義概要 | 本学担当教授 |
| 2. 本学作成のエンディングノート | 行政書士 本学研究員 |
| 3. ファイナンシャルジェロントロジー | 慶應義塾大学 駒村康平教授 |
| 4. 高齢者の住まい | 三菱地所ホーム |
| 5. 高齢者の暮らしとお金 | ニッセイ基礎研究所 前田 |
| 6. 情報化の進展と高齢社会 | 東急セキュリティ |

7. 高齢者と買物 日経新聞社 本学研究員
8. ペットと高齢者 アニコム 獣医師
9. 高齢者と観光 日本交通公社理事
10. 在宅医療の現状・医療上の決定 鶴見医師会
11. 高齢者と法①遺言信託 SMBC日興証券
12. 年金政策の現状と今後 ニッセイ基礎研究所
13. 高齢者と法②任意後見、成年後見 本学研究員、弁護士
14. 認知症サポーター養成講座 横浜市東寺尾地域ケアプラザ
15. 学生のみテスト 合格者に2単位付与 本学担当教授

②連携団体（マッチング団体）

(a)ニッセイ基礎研究所と共同で実施

- ニッセイ基礎研究所からは、「高齢者の暮らしとお金」、「年金政策の現状と今後」の講師派遣があった。

(b)神奈川県から本プロジェクトを“協力事業”としていただき、広報に役立てた。遠く小田原のシニアネットワークの方の受講があった。

(c)ある企業と講師派遣の基本合意を得た。（後に中断）

③事業の進捗状況

- 講義実施日 2019年9月24日～2020年1月21日
施設での実習 2020年1月末
- 受講者
受講対象を一般社会人にも拡大し、学生・社会人が共に学ぶ。
受講者数 学生74名、一般社会人-10名(8割の方がほぼ全回出席)
- 受講学生の声(第5回まで)・・・毎回学生に小レポートを課している。
- ①あまり興味がなく受講したが、毎回専門家による講義を聞いて、大きな市場があると感じた。
まだ開拓されていない市場という視点でとらえると興味が湧く。
- ②両親・祖父母など家族の事を考えながら講義を聞くと、身に迫って実感できる。
- ③お金の事が心配だ。
働き始めたらきちんと年金を払うと決めた。
老後の資金が必要だと分かったが、蓄える手段がまだわからない。
- 等々
-

講義の様子



10月15日講義「高齢者の住まい」



10月22日講義「高齢者の暮らしとお金」



10月8日講義「ファイナンシャル・ジェロントロジー」

④期待される効果

- 講座の目的と問題意識

1. “人生100年”を如何に安心して最期まで自分らしく生き抜いていけるかということを学生に考えていただく。
このテーマは、一人ひとりの個人だけでなく高齢社会を構成する多くの機関の協働が必要であることを学ぶ。
2. 学生がどのような職務・職種に将来就いても高齢者に対しての理解をもとにマーケティングができるようになる(商助の考え)。
3. 「ジェロントロジー(高齢社会総合研究)」の概念を学ぶ。
4. 学生が社会人と同じ場所で一緒に学ぶことで世代を超えた相互理解が期待できる。
5. 社会人が講義のために大学へ来ることで、学ぶ＝大学という敷居が下がる。

マッチング状況と反省

• 反省

- 数社からお話があったが、相手先が社内体制を整えるのに時間がかかった。
- 考え方のすり合わせ、調整が間に合わなかった。もう少し準備時間が必要だと感じている。
- 提案者(我々)が積極的に相手にアプローチできるだけの参加者に対する知見が不足。

展望

- 「この指とまれ」プロジェクトがあることにより、本学講義の取り組みを広く拡散でき、多くの団体と協働できれば、人生100歳時代社会に貢献できる学生を要請できる。